

## OECD Student Ambassador Programme 2015

### 参加者募集

- 大学内で OECD の活動を広める PR プロジェクトに取り組む、6 カ月のプログラム
- 国際機関の活動に関わって企画運営能力を磨くチャンス
- OECD 職員や関係者との交流、他大学との切磋琢磨など成長の機会が多数
- 優勝者はフランス・パリで開催される OECD フォーラムに派遣

OECD Student Ambassador Programme は、選抜された学生チームが所属大学を舞台に、OECD の組織や活動への理解促進に向けた PR 活動を行う 6 カ月のプログラムです。OECD から来日する専門家を招いてのセミナーや、OECD の統計データ・報告書の利用講習会、OECD の知見を学生の目線で検証する勉強会、SNS の活用、デジタルコンテンツ制作、パネル他制作物の展示などにとどまらず、枠にとらわれない斬新な企画を歓迎します。

プログラムの最後には活動の成果をまとめた報告書を提出していただき、優勝者を決定します。優勝者(チームの場合は代表者 1 名)は 2016 年 5 月に OECD 本部(フランス・パリ)で開催する OECD フォーラムに派遣されます。

#### 【プログラムスケジュール】

- 2015 年 9 月中旬      アンバサダー決定、キックオフミーティング  
～約 6 カ月間、Ambassador 活動に取り組む～
- 2016 年 3 月中旬      活動終了、報告書提出、優勝チーム決定、終了式
- 2016 年 5 月            優勝チーム代表者をパリ本部の OECD フォーラムに派遣



## 【2014 年参加者の声】

「Student Ambassador になり、刺激的で自分を大きくする機会に恵まれたと思います。第一に、国際機関の中での仕事や人を直接感じることが出来ます。第二に、国際機関を広報する面白さを感じています。普段出会えないような方々と出会い、OECD の職員の方と自分達の構想を形にしていくことは、大きなやりがいであり、自分自身のキャリアにも影響を与えたいと思います。」(早稲田大学・岡戸久実さん)

「チームプレイを経験するためにアンバサダーを始めました。メンバーがみんな優秀で、それぞれの持ち味を持っていたことが特に良かったです。少人数なのでフットワークも軽く、刺激的な毎日になりました。」(早稲田大学・藤田知樹さん)

「私は、岡山でしかできない地域密着型の活動を目的にしました。企画・広報・マネージメント・講座を自分で行い、たくさんの苦労があった分、達成感がありました。活動を通して、自主的に企画・実行をする能力を成長させる事ができたと思います。」(岡山大学・梅津尚樹さん)

## 【応募のきまり】

- 応募資格：大学の学部・大学院に在籍する学生。1 チーム 1～3 名で構成
- 締め切り：2015 年 9 月 13 日(日)必着
- 応募方法：以下 2 点をメールで [tokyo.contact@oecd.org](mailto:tokyo.contact@oecd.org) まで送付
  - 1) 活動の企画案(A4 用紙 1～2 枚程度、書式自由)  
6 カ月間で最低 2 件の企画を実施すること。うち一つは OECD iLibrary ([www.oecd-ilibrary.org](http://www.oecd-ilibrary.org)) の報告書・統計データの利用促進に関するものであること。もう一つは自由(OECD iLibrary の報告書・統計データ利用促進を二つ実施しても良し)  
※合格後、活動がスタートしてから企画を変更・追加しても構わない
  - 2) 応募者プロフィール:所属と簡単な自己紹介(チームの場合は全員分)

## 【選考について】

企画案からチームの持ち味、創造性、活躍の可能性を見る。9 月中旬に応募者全員へ合否を連絡。

## 【参考情報】

- OECD Student Ambassador Programme 2014 年  
<http://www.oecd.org/tokyo/studentambassadorjapan/sa-2014-results.htm>
- OECD 東京センターウェブサイト [www.oecd.org/tokyo](http://www.oecd.org/tokyo)
- OECD パリ本部ウェブサイト [www.oecd.org](http://www.oecd.org)
- OECD iLibrary [www.oecd-ilibrary.org](http://www.oecd-ilibrary.org)

問い合わせ先： OECD 東京センター [tokyo.contact@oecd.org](mailto:tokyo.contact@oecd.org)

一橋大学経済学部・経済学研究科より

Student Ambassador Programme に興味はあるけれども、どのように企画書を作成すべきかよくわからない場合には、個別に説明しますので、経済学部グローバルオフィス(マーキュリータワー3階、3301)木村に連絡してください。

e-mail: [t-kimura@econ.hit-u.ac.jp](mailto:t-kimura@econ.hit-u.ac.jp)

Tel: 042-580-9076